

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 5 年度)

施設の名称	旧河澄家	指定期間	2	年度～	6	年度			
		指定の方法	単体施設を指定管理						
施設所管課	人権文化部 文化室 文化財課	連絡先	06-4309-3283						
設置目的	郷土の文化財を広く市民の利用に供し、市民の郷土理解と文化的向上に貢献するため、旧河澄家を設置するもの。								
施設内容・業務内容等	東大阪市指定文化財 旧河澄家は、敷地面積が1634.89㎡で、主屋、棲鶴楼、蔵、庭園などからなる。指定管理者には、施設の維持管理業務、展示業務、体験学習等各種活用事業を委託している。								
指定管理者	株式会社 アスウェル	連絡先	072-984-1640						
人員体制	正規職員	3	人	パート・アルバイト	3	人	その他	0	人

2 管理運営状況等

年度	実績						今年度(予算)	次年度(見込)
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	
供用(開館)日数	259	255	302	297	297			
指定管理委託料(千円)	19,803	19,199	20,006	20,484	21,011			
利用状況指標	1 入館者数(人)	4,733	5,474	5,909	補足説明 新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館 R2.3.2～R2.5.22 R3.4.25～R3.6.20			
	2 施設利用者数(人)	99	303	108				
	3 イベント実施回数(回)	企画展示:10回 体験イベント:15回 講座ハイキング:30回	企画展示:11回 体験イベント:18回 講座ハイキング:34回	企画展示:14回 体験イベント:27回 講座ハイキング:34回				

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全てO、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S	設置目的の「市民の郷土理解と文化的向上に貢献」を理解し事業の運営をしている。各年度継続して行うイベントと新しいイベントをバランスよく配置し、利用者のニーズに応えている。また、古民家のため、どうしても段差等はあるが、利用者へ積極的に声かけをして手助けするなど、マンパワーで補っている。なお、報告書等について、以前と比較し、より適切に提出がなされ、改善が見られた。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	S	設備・清掃の管理について適切に実施されており、昨年度、備品管理が一部不適切であったが、使用不可のものを台帳から削除するなど、改善が見られた。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	開催イベントについては、子ども向け～大人向けと幅広い年齢層を対象に実施しており、大変好ましいが、イベント対応に追われた結果、一般観覧者に一部不適切な対応が見られたため、今後はより一層、平等な対応を心がけて欲しい。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	イベント終了後はアンケートを欠かさず実施しており、満足度および感想・意見を広く聞くことで市民の声を反映し、次のイベントに活かす取組みができています。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	S	イベントの際は地元の文化人に講師依頼し、ほぼボランティアに近い形で依頼できているなど、経費縮減を図りつつ地元の方の活動の場の提供に寄与している。勤務日数も以前の水準に戻ったことで、事業計画に基づいた運営が実現できた。引き続き市民の活動の場として施設が活用できるよう取り組むことが求められる。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	関係法令や各種規則等については研修がおこなわれており、職員への周知徹底が図られている。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	地元連携で、地域の中の文化施設としての役割が十分果たせている。定期イベントも毎年切り口を変え、新規イベントもバランスよく配置している。しかし、イベント対応に追われるあまり、一般観覧者への対応が一部おろそかになっていたので、適切に行われた。加えて今後の取組みとして、ポストコロナを視野に、より幅広い文化の拠点となるよう、さらに新たな団体や個人と連携して欲しい。